

巧妙な特殊詐欺に気をつけましょう！

今年に入って、筆者自身含めていろいろな方に電話、メール、メッセージ、LINEを通して不審な通知が届くことが多くなっております。情報を手に入れることによって自分の身を守りましょう。又、万が一、その場面に遭遇しても適切な対応で被害から逃れる準備を心がけてください。

◎警戒すべき項目

1 海外を経由した電話やメッセージ

- +1、+44 など通知番号の頭が+81（日本国番号）以外の通知番号
→詐欺グループは、スマートフォンのアプリを悪用して、さまざまな国の国際電話番号を取得し、これを使って日本国内の被害者に電話をかけています。これにより、国内や近隣の国からの発信であっても、受信者には海外からの電話として表示されます。特に、「未納料金の請求」などを口実とした架空請求詐欺が多発しています。

筆者も気づかずにこの通知を受け、「警視庁」を名乗る通話に対応しましたが、直後に通話が切れ、返信しようとしたところに国際電話番号に気付き、返信を取りやめました。後ほど調べたところ「返信した際には国際通話となり高額な請求の可能性があると知りました。

2 警察、役所を名乗る電話、メール

- 最近、警察官を装った詐欺の電話が激増しています。
→着信画面に、警視庁の代表電話（03-3581-4321）や末尾が（0110）の警察署代表番号を偽装表示させ、警察官からの電話と信用させる手口です。まずは、落ち着いて一旦電話を切り、家族や知人に相談してから折り返しましょう。通話内容に不審な点があれば、最寄りの警察署、交番へ通報してください。

この詐欺は、警察官を名乗って携帯電話あてに電話がかかってきて、「あなたの口座が犯罪に利用されている」「あなたの携帯電話が犯罪に利用されている」などと言って、通話のほかにSNSやビデオ通話に誘導します。そのうえで警察手帳や逮捕状を見せる手口もあるようです

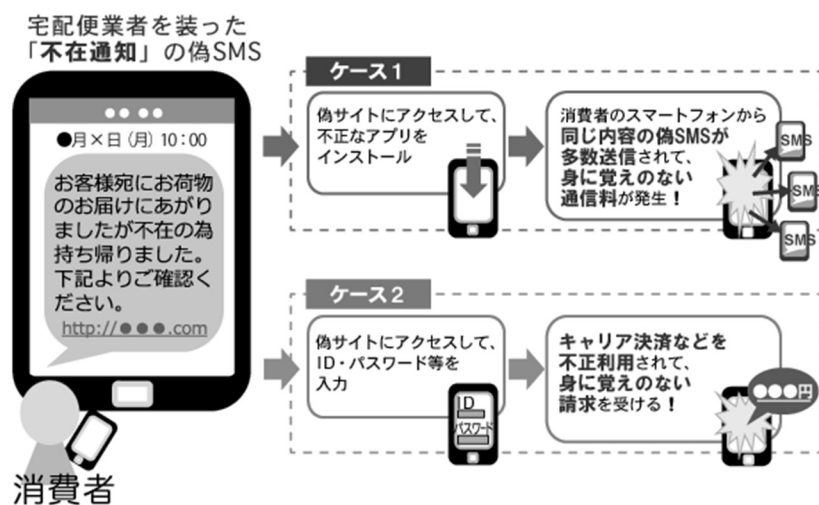


→裏面に続く

3 宅配業者を装うメッセージ、メール、LINE 通知

- 宅配業者を装ったフィッシング詐欺は、ヤマト運輸や佐川急便などの信頼性の高い宅配業者の名前やロゴを悪用して行われるフィッシング詐欺です。これらの詐欺は、主にメッセージやメールを通じて行われ、荷物の配達に関する通知や再配達依頼を装います。
→メッセージには、荷物の受け取りに関する重要な情報が含まれていると見せかけ、リンクをクリックさせる内容が多いです。リンク先は一見すると正規の宅配業者のウェブサイトに見せかけてきますが、実際には偽のフィッシングサイトで、利用者に個人情報やクレジットカード情報を入力させようとします。

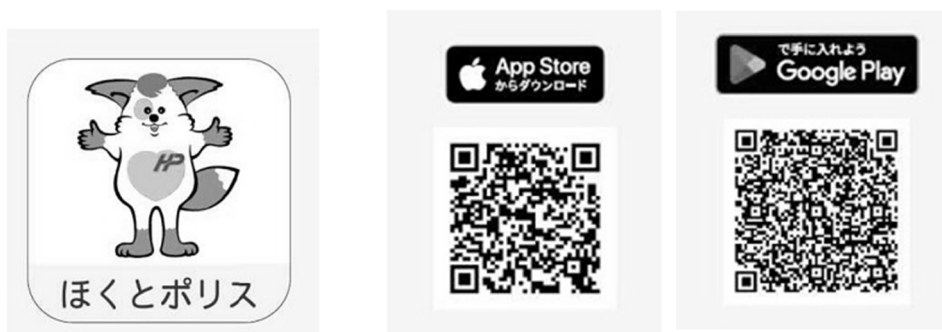
また、これらの詐欺メッセージには、「荷物の配達に問題が発生しました」や「住所不明のため、再配達が必要です」といった緊急性を感じさせる文言が使われることが多く、受け取った人が急いで対応しなければならぬと思わせることで、被害を増やしています。



犯罪は手を替え品を替え、日ごとに手口は巧妙化しております。より新しい情報を手に入れ犯罪から身を守りましょう！

スマホをご利用の方は「ほくとポリス」という防犯アプリがありますので、身近な犯罪発生を含めて最新の情報を手に入れてください。

北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」は、北海道内の犯罪、不審者、特殊詐欺情報を表示するほか、防犯ブザー・ちかん対策機能等により、皆さんの安全と安心な暮らしを支援します。



詳しくは 北海道警察ホームページ>安全な暮らし>北海道警察公式防犯アプリ ほくとポリス をご確認ください